

本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立下吉田中学校

共に学び支えあう教育

～高校生ボランティアによる学習支援活動～ 近隣高等学校との連携

1 目的と経緯

- ・中学生の学力向上と学ぶ意識の向上を図る
- ・年齢の近い高校生による学習支援を受けることにより、学ぶ楽しさを深める
- ・高校生のインターンの一環として、将来の人生設計の一助とする
- ・十数年続く交流活動であるが、新型コロナウイルス感染症対策により中断していた。昨年度より交流を再開した

2 内 容

- ・例年、2月下旬に実施する学年末試験に向けた学習会に高校生がボランティアとして参加し、1年生と2年生に対し学習支援を行った
- ・高校側と日程調整を行い、予め高校生が来校する日を生徒に通知した
- ・日程については、感染症の流行なども考慮し柔軟に対応できるように配慮した
- ・生徒が疑問に思ったことを質問し、それについて高校生がアドバイスする形式をとった
- ・高校生は卒業を間近に控えた3年生が参加することになっている
- ・人選は高校が行い、本校出身以外の高校生が参加することもある
- ・昨年度は、10名の高校生が参加した
- ・学年ごと5名の高校生が生徒を支援した
- ・支援の方法や割り振りは、学年の教員が生徒の実態や要望に応じて決定した
- ・高校生に対しては、困ったことが起きたらすぐに教室で共に支援を行っている教員に遠慮なく相談するように伝えた

3 成果と課題

- ・年齢が近いこともあり、生徒から多くの質問が出され主体的な学習ができた
- ・試験前という時期もあり、多くの生徒が参加した
- ・質問の中には、学習法に関するものもあり生徒が興味をもって耳を傾けていた
- ・高校生の存在が身近な目標として生徒たちに良い刺激を与えていた
- ・教員志望の高校生も含まれており、将来の職業選択の一助となった
- ・限りある時間の中で全員に支援が届くことができない
- ・違う時期にも実施することができるか検討していく
- ・学習支援以外の場面でも生徒同士の交流が図れる機会を模索していく